

JR十勝清水駅 跨線橋対策について

町長

引き続き鉄道整備に対する
財政支援への要望を行っていく



佐藤 幸一 議員

佐藤議員の
一般質問全編



町長 JR北海道の財政状況を見ると、整備するのは難しい。また、町が整備することも難しい。今後においても町村会や十勝圏活性化期成会を通じ鉄道施設の整備に対する財政支援への要望を行っていく。

問 十勝清水駅は跨線橋を渡らなければ乗車できない。高齢者や体の不自由な方には大きな負担となっており、これまで様々な提言をしてきたが、解決されていない。町長には検証し、取り組んでいただきたいと考えを伺う。

带状疱疹ワクチンの 任意接種者に対する助成について

町長

現時点で接種対象年齢の拡大は
予定していない



問 今年度から带状疱疹ワクチンは国が定める定期予防接種対象となり、該当者から大変喜ばれている。「80歳までに3人に1人が発症する」という研究データがあり、町民の命を守るため50歳以上の任意接種者に対する助成措置を講じてはどうかと考えるが、町長の考えを伺う。

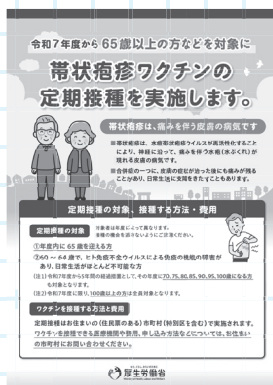
問 しみず温泉フロイデ看板について、業者が事業廃止後も設置されたままである。町有地使用料滞納や景観の問題もあり業者に請求

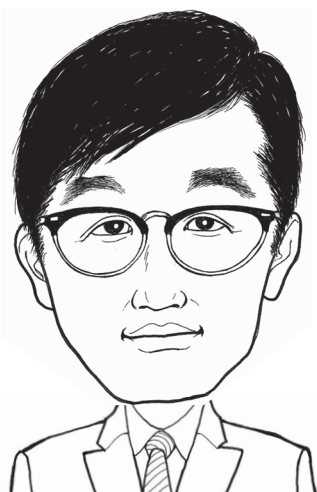
町長 これまで複数看板の適正管理・撤去処分を求めているが、何

しみず温泉フロイデ看板の撤去について
町長 粘り強く対応していく

ら意思表示がない。粘り強く対応していく。

町長 本町も本年5月より定期接種を実施している。管内も7町村が50歳以上の任意接種者の自己負担軽減措置を実施しているが、現時点で接種対象年齢の拡大は考えていない。





田村 幸紀 議員

選挙公約と総合戦略の整合性

町長 次期戦略で示していく

問

町長は選挙で「清水町を元気にする10の約束」を掲げ当選したが、就任から半年を経ても道の駅構想をはじめとした公約の多くが総合戦略に反映されていない。総合戦略は地方創生の道しるべであり、町民との約束である公約はここに位置づけてこそ実効性を持つ。さらに企業版ふるさと納税の対象事業とするためにも不可欠なものである。総合戦略は随時見直し可能な計画である以上、掲載を先送りする理由にはならず、早急に対応する考えを伺う。

問

公約に掲げた道の駅構想は情報が乏しく、町民に「やらないのでは」との不安が広がっている。まちづくりに基本条例の理念に基づき、検討過程や財政見通しを町民に公開し、議論する仕組みを整える考えを伺う。

問

大型事業の実施には財源の裏付けが不可欠である。当初から規模感を想定した上で財政見通しを示し、町民と共有する必要がある。早期に方向性を示す考えを伺う。

町長

大型事業の財源は国庫補助や有利な起債を組み合わせ、世代間の公平性を考慮して進めている。今後は財政推計を含め、町民に丁寧な情報を示していく。

町長

第2期総合戦略は令和7年度までの計画期間であり、現在第3期戦略を策定中である。公約は現行戦略の基本方針と方向性は一致しており、次期戦略で詳細について示していく。

町長

道の駅は立地や採算性などを総合的に精査する必要がある。まずは情報拠点整備から段階的な機能充実を目指す。また、町の課題解決を優先するため、御影公民館や消防署御影分遣所の老朽化対応を先行課題に位置づけることとした上で、道の駅構想は優先順位を下げ、令和8年度に計画策定、令和9年度から具体化を目指す。



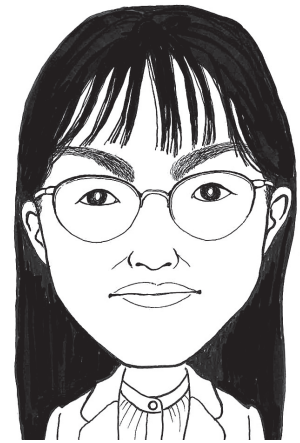
清水公園から眺める清水市街と国道274号

田村議員の
一般質問全編



まちづくりに関わる 住民参加について

町長 条例の理念に基づき、
町民の声を踏まえて進めていきたい



山本 奈央 議員

問

町民が主体的に
まちづくりに関わ

るには、まず町の動きを
分かりやすく発信し、関
心を持つてもらうことが
必要と考える。そこで、
まちづくり基本条例に定
められた「町民主体・説
明責任・協働の推進」が、
実際にどのように活かさ
れているのか伺う。

また、清水町では多く
の審議会や協議会が開か
れているが、傍聴者はほ
んどおらず、周知方法
もホームページや掲示板
に限られている。より多
くの町民に届くよう、S
NSの活用や分かりやす
い案内の工夫が必要では
ないか。



第5回住民協議会

ないか。

第6期総合計画の住民
協議会では、高校生を含
む町民が議論を重ねてい
るが、空き家数など基礎
的な情報が示されず、意
見が深まりにくい。こう
した議論の経過を広く町
民に伝えることも重要だ
と考える。町名変更も含
め、重要な施策は町民参
加が求められる中で、ま
ちづくり基本条例の理念
に基づき町民参加をど
うのように進めていくか伺
う。

町長

本町のまち
づくり基本

条例は平成18年4月に制
定され、これまで審議会
の公開や町民意見提出制
度を通じて、町民の皆様
が参加できる機会を設け
てきたと考えている。し
かし、傍聴者は少なく
その要因として開催日時
や内容が影響していると
認識しており、周知方法
については工夫が必要だ
と考えている。

「いちまる」跡地に関するその後の対応について

町長

新たな動きはなく、意見交換や情報共有を続け、
状況を注視する

問

いちまる跡地は
町のランドマー

クであり町民の関心が高
い。所有企業との交渉や
町長のトップセールスに
よる進展があったのか、
6月定例会以降の取り組
み状況を伺う。

町長

6月定例会
後、所有企

業から未だ決まった事項
はないと伺っている。ま
た、関係者へ打診を行っ
たが新たな動きはなく、
現在は企業の検討状況を
見守っている。町を代表
する場所として注視しつ

第6期総合計画の住民
協議会では、無作為抽出
により委員を選び、これ
まで議論を重ねてきた。

次回で提案を取りまとめ
る予定であり、先入観を
避けるため具体的な数値
は示していないが、いた
だいた意見は尊重し、経
過の伝え方についても今
後の課題としている。
町名変更については、
自身の提案から始まった
ものであるが、町民の声

を聞いていないわけでは
ない。判断のための材料
を揃えたうえで意見を伺
うことが適切だと考えて
いる。

町名変更、新体育館
道の駅構想など重要な政
策については、条例の理
念に基づき、情報を示し、
町民の声を踏まえて進め
ていきたい。

つ、意見交換や情報共有
を続けていく。

山本議員の
一般質問全編

